

ネイティブ バチルス・ステアロテルモフィルス ポリヌクレオチド ホスホリラーゼ

Cat. No. NATE-1908

Lot. No. (See product label)

はじめに

○明

ポリヌクレオチドホスホリラーゼ (PNPase) は、リン酸加水分解的な3'から5'エキソリボヌクレアーゼ活性と3'-末端オリゴヌクレオチドポリメラーゼ活性を持つ二機能酵素です。また、細菌、植物、ヒトにおけるmRNAの処理と分解にも関与しています。

用途

その酵素はポリリボヌクレオチドの調製に役立ちます。

別名

PNPase; ヌクレオシド二リン酸:ポリヌクレオチジル転移酵素; ポリリボヌクレオチジル転移酵素; ポリヌクレオチドホスホリラーゼ; ポリリボヌクレオチドホスホリラーゼ; EC 2.7.7.8; 9014-12-4

製品情報

由来

バチルス・ステアロテルモフィルス

外観

凍結乾燥された

EC番号

EC 2.7.7.8

CAS登録番号

9014-12-4

分子量

300,000 - 340,000; Subunit molecular weight : ca. 85,000.

比活性

2,000 U/mg タンパク質以上

等電点

4

pH安定性

9.0 - 11.0

最適pH

9.0 - 9.5

熱安定性

55 °Cまでの活動の減少は認められませんでした。

ミカエリス定数

(38 mM Tris-HCl バッファー、pH 9.5、60 °Cにて) ポリA: 0.27 mM**; KH₂PO₄: 3.0 mM; **ポリAの濃度はAMP濃度として計算されました。

単位定義

1単位の活性は、ポリAの脱重合によって60°Cで1時間あたり1μmolのADPを生成する PNPaseの量として定義されます。

反応

RNA_{n+1} + Pi \leftrightarrow RNA_n + ヌクレオシド二リン酸

備考

エフェクター: カチオンとアニオン。

保管・発送情報

保存方法

-20 °Cで少なくとも1年間安定しています。